

山行報告書		報告書作成	2000年5月22日
--------------	--	-------	------------

山名 [山域]	甲武信・両神山登頂(奥秩父)	目的と方法	100名山ハイキングとヤシオ鑑賞
登山期間	2005年5月13日(金)～5月15日(日)	山行形態	2泊2日(登山口テント泊、日帰り山行)

行動記録

5月13日(金曜日) 旧岡崎市民病院跡PKG(20;30)=1,55=駒ヶ根SS(22;25,22;30)=0,30=長坂IC(23;00)=1,10=毛木平P(00;10)テント泊、就寝(1;00)

5月14日(土曜日) 毛木平P(6;30)-1,10-八丁頭(7;40)-0,20-十文字小屋(8;00,8;10)-0,40-大山(8;50,9;00)-1,05-三宝山(1;05,11;20)-0,40-甲武信岳(12;00,12;35)-1,25-ナメ滝(14;00,14;10)-1,15-毛木平P(15;25,16;00)=1,30=上落合橋(17;30,17;35)=0,25=八丁トンネルP(18;00)テント泊、就寝(20;00)

5月15日(日曜日) 八丁トンネルP(6;30)-0,50-八丁峠(7;20,7;30)-0,50-西岳(8;20,8;30)-1,00-東岳(9;30,9;40)-0,40-剣が峰(10;20,10;50)-0,30-東岳(11;20,11;30)-0,55-西岳(12;25,12;35)-1,10-八丁峠(13;45)-0,35-八丁トンネルP(14;20,14;50)=0,25=こまどり荘温泉(15;15,16;00)=2,25=諏訪SA(18;25,19;00)=2,15=旧岡崎市民病院跡PKG(21;15)



日誌

5月13日(金曜日) 快晴

14日早朝出発を、13日夜にして、余裕のある計画にした。ゴールデンウィークの、後のせい、東海環状道路、中央道とも、すいており、予定より、約、1時間早早く、到着した。毛木平の、直前、2KMくらいは、悪路ですが、さすが、100名山、100台くらい、大駐車場、(トイレトペーパー付きのトイレ有り)4台のみ駐車、結果的には、翌日、石楠花は、数本くらいしか、咲いていず、まだ、少し、はやかったようです。駐車場に近づくと、鹿が、動くのが、見えました。テントは、1張りもなく、屋根付きの、立派な、休憩所があり、真夜中でも、あるので、そこに、テントを、張らしてもらい、屋根付きの、宿泊でした。簡単に、宴会して、寝ました。

5月14日(土曜日) 晴れ、時々、曇り

予定通り、6時30分に、毛木平Pを出発し、八丁の頭の尾根に出ると、これから登る甲武信岳の雄姿が、薄っすらと雪化粧して、遠くに見えた。十文字小屋を過ぎる頃から、案の定、新雪となり、心地よい歩きを楽しんだ。大山からは、雪に覆われたハゲ岳連峰と、更に奥の、南アルプスを遠く望むことができた。更に進むと、武信白岩岳の入り口に着いたが、崩れ落ちそうな岩山で、進入禁止になっていた。そこを迂回して、通り過ぎた頃、好天が災いして、木々の雪が雨のように降り注いできたので、急いでカッパを着用した。三宝山を過ぎる頃から、雪が多くなり、大きな足跡をつけながら登り続けると、小神社のある甲武信岳の頂上に、正午に着いた。あいにく雲が出ていて、先程のような眺望は、既に失われていた。昼食後、折角用意してきたアイゼンだから、取り付けて下山を開始したら、お陰で楽に下山ができた。途中、沢のほとりの雪の中に、「千曲川、信濃川源泉」の大きな道標が現れた。更に、沢伝いに下りていくと、丁度、下山路の半ばあたりに、遭難碑があり、その横に豊富な水量のナメ滝が、激流を伴って流れ落ちていた。毛木平に近づいた頃、大山を見返せるあたりに、大山権現がこじんまりとお祭りしており、今日の登山の無事をお礼して毛木平Pに着いた。一休憩した後、明日登る両神山に向けて、落石注意のガタガタ道を注意深くドライブした。途中、5時以降進入禁止のゲートがあり、この先閉じ込められると困ると思い、スピードを上げて走り、無事、川上村に着いた。交番に立ち寄り、道路の安全確認と、ついでに登山計画書も提出した。目的の上落合橋は、駐車4台くらいでトイレも無く、テントを張るには今一だったので、その先の八丁トンネルPに行った。1台車が駐車していたが、ここは舗装がされていて20台は駐車でき、屋根付きの休憩所もあった。今日もラッキーに屋根付きの宿泊でした。手頃な机も在り、にわか作りの赤提灯の開店となり、宴会は大いに盛り上がりました。8時からぐっすり寝ました。

5月15日(日曜日) 曇りのち晴れ、時々雨、夕方雷雨

八丁トンネルPを予定より30分遅れ、6時30分出発。いきなり鎖の登りからで、昨日の疲れもありきついスタートだ。八丁峠に着くと、ヤシオが咲いており歓声!! 西岳に向けて鎖場の連続で、あたり一面のヤシオに慰め励まされ、騙しの頂上を3個ほど過ぎると、ようやく本物の西岳に着いたが、雨が降ってきてカッパを着用し、東岳に向けて、また、鎖場の連続だ。股が引き裂けそうな大岩が何個もあり、雨ですべる中、苦戦の連続。ようやく東岳に着いた頃、雨も止んだ。ここで、場合によっては引き返そうと考えていたが、ここからはふつうの山登りとなり、間もなく剣が峰に着いた。頂上は10人ほどのスペースだったが、360度のパノラマで、さすがに富士山は見えなかったが、奥秩父の緑豊かな山々を堪能しました。びっくりしたことに、頂上までヤシオが咲き誇り、まさにヤシオ山でした。1週間早めたCLは、さすが! ヤシオを眺めながら、達成感に浸りゆっくりと昼食をとった。下山はピストンなので、また、鎖場を下りたり登ったりの繰り返しで、おまけに、また、雨が降ってきたので注意深く下りた。ようやく鎖場が終わり、八丁峠に着いた頃、今度は雷となり、雨も強くなり、更に、霰になったので、一目散に下山した。もう、2度と来ないかもしれないと言うことで、こまどり温泉に入るため、車で30分ほど川上村まで戻り、交番に下山報告をし、温泉につかった。今度は大回りだが国道に向かい、舗装道路を快適に走り、甲府市に向かった。途中、富士山が異様に大きく近くに見えた。車の中で、次の計画を話しながら、無事帰岡した。

感想 100名山ハイキングという事で、参加させてもらった。甲武信岳は、雪山で、石楠花には、はやかったが、用意した、アイゼンを、早速つかえた。両神山は、鎖場の、連続で、しかも、ピストンで、大変でしたが、ヤシオづくしで、心なぐさめられた。二日とも、カッパが、時折、必要でしたが、(これで、入会以来、3日間とも、カッパで、制服と、したくないですが。。。)天候には、めぐまれ、アルプスとは違い、奥秩父は、標高が、低いだけに、一味違った、みずみずしい山々を、堪能できました。でも、チョット、ハードで、さすが、山岳会だと、おもいました。ヤシオは、期待以上、宴会も、期待以上、お喋りも、期待以上、楽しかったです。いろいろ、指導いただき、思いあたるところ、多く、ありがとう、ございました。

----- 両神の、岩をなくさむ、ヤシオかな ----- (言っちゃ)